

	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日		△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△						△					
△						△					
適用規格											
定格	使用温度範囲		-25℃ ～ +85℃			保存温度範囲		-10℃ ～ +60℃			
	電圧		AC 150 V , DC 200 V								
	電流		2 A			適合ケーブル		MAX φ5			
性能											
	項目		試験方法			規格			QT	AT	
構造	外観、構造及び仕上げ		目視、寸法測定器にて測定する。			図面と合致していること。			○	○	
	表示		目視にて確認する。						○	○	
電気的性能	接触抵抗		単位コネクタを DC 1 A で測定する。			10 mΩ以下			○	○	
	絶縁抵抗		DC 100 Vで測定する。			1000MΩ以上			○	○	
	耐電圧		AC 500 Vの電圧を1分間印加する。			せん絡・絶縁破壊がないこと。			○	○	
機械的性能	コネクタの挿抜力		—— 鋼製ピンで測定する。			挿抜力 —— N 以上			—	—	
	コネクタの挿抜力		適合コネクタで測定する。但し、ロック機構を含む。			挿抜力 25N以下			○	—	
	繰返し動作		1000 回の抜き差しを行う。			単位コネクタの接触抵抗: 15 mΩ以下			○	—	
環境性能	耐振性		周波数 10～ 55 Hz, 振幅 0.75mm, 加速度 — m/s ² で3方向各2時間試験する。			①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと			○	—	
	耐衝撃性		加速度490m/s ² , 持続時間11ms 正弦半波3方向各3回試験する。			①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと			○	—	
環境性能	定常状態の耐湿性		温度 40 °C, 湿度90～95 %中に96時間放置する。			①絶縁抵抗: 5 MΩ以上(高温時) ②絶縁抵抗:50 MΩ以上(乾燥時) ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと			○	—	
	温度サイクル		温度 -55℃ →常温 → +85℃ →常温 時間 30 →10～15 → 30 → 10～15 分 を5 サイクル試験する。			①絶縁抵抗:1000MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと			○	—	
	塩水噴霧		濃度5%の塩水、48時間放置する。			はなはだしい腐食がないこと。			○	—	
	耐熱性		温度 +85 °C中に96時間放置する。			破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—	
	耐寒性		温度 -55 °C中に96時間放置する。			破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—	
	はんだ耐熱性		はんだこてをこて先温度+380±10℃で3～4秒間ソルダート部へ当てる。			外観の変形及びコネクタなどに著しいガタがないこと。			○	—	
	はんだ付け性		はんだこてをこて先温度+350±10℃で2～3秒間のはんだ付けを行う。			はんだ付け面がはんだでぬれていること。また、はんだの小塊がないこと。			○	—	
備考											
						製図	設計	検図	承認	出図	
											
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。											
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目											
IBCL		図番				製品コード		製品名			
CL		SLC4-007756-73				CL110-0021-6-73		HR10-7P-4P(73)			